

# 布施だより

## 《 平成26年度がスタートします。 》

4月4日(金)、午前中は小雨が当たっていましたが、天候が回復し日差しが顔をのぞかせる春の午後、227名の新しい仲間を迎え、篠ノ井西中学校生徒諸君658名、教職員50名、総勢708名で平成26年度のスタートが切られました。

入学式では松井英雄市議会議員様、山田ふみ江PTA会長様始め多くのご来賓の皆様のご臨席を賜る中、入学式が挙行されました。以下に入学式・始業式の様子をお伝えします。

春の新しい息吹きとともに、今年度もよろしくお願いたします。



~ ~ ~ ~ ~  
学校長は式辞の中で、中学1年生に向けた「中学生へ」という詩を紹介しながら学校生活の心構えを新入生諸君に伝えました。

~中学校で君たちがやることは 自分の中にある『自分の知らない自分』を どんどん見つけて  
ゆくことなんだ 宿題をやりぬける自分 授業に集中したら勉強がよくわかる自分 掃除に熱中  
できる自分 君の中にもきっとあるに違いない そんな自分を どんどん見つけてゆくんた それ  
が中学生なんだ~こんな詩の一節を紹介します。

「自分の中にある自分の知らない自分」とは、言葉を替えれば、皆さん一人一人の可能性のことです。これから始まる中学校生活は「自分の可能性」を発見し、伸ばしていく3年間です。

こうした3年間にするために、これからお話しする3つのことを大切にしてほしいと思います。

ひとつめは、「目標を持つ」ということです。

目標を持つということは、「自分を試す」ということでもあるし、「挑戦する」ということでもあります。自分を試し、挑戦していけば、必ず『自分の知らない自分』に出会えます。

今日は、新たなスタートの日です。今までの自分ときっぱりと別れ、新たな自分に出会うために、目標をたててください。遠いところにある目標でなくともよいのです。小学校の時、頑張れなかったこと、できなかったことに挑戦する、あるいは目の前にある、当たり前な事を徹底してやる、こ



うしたことでよいのです。

ふたつめは、「継続する」ということです。

「継続は力なり」という言葉があります。目標に向かって、小さな努力を積み重ねていくことで、皆さんの力はより確かになり、やがては本物の力となって、『自分の知らない自分』に出会えます。私達が日々行える努力は、何事においても、どんな人にとっても小さな事です。自分の目標や夢に近づくには、この小さな事を一つ一つ積み重ねていくしか方法はありません。「自分にできる小さな事」はすべての人にあります。ですから、夢や目標への道は誰にでも開かれています。

みつつめは、「仲間を大切にする」ということです。

皆さんが目標に向かう中で困難にぶつかった時やつらい時に、元気を与え、勇気づけてくれるのは仲間です。人は誰でも、周りの仲間の支えがあってこそ成長するものです。支え合い、高め合うよりよい関係を仲間とともに築いていって下さい。

続いて学級・学年担任の発表があり、ご来賓の皆様からのご祝辞を頂戴し、次に橋爪駿介くんが新入生を代表して決意と抱負を伝えてくれました。

いよいよ今日から、中学生としての新たなスタートです。それにもなって中学校3年間に向けた抱負をふたつ考えました。

ひとつは人間関係を結ぶことです。中学からは部活動が始まります。「先輩・後輩」という関係の中で言葉遣いなどきちんとできるようになりたいです。また、教科によって先生も替わるため、たくさんの先生方とのつながりも大切に築いていきたいと思っています。

もひとつは最後までやり遂げることです。小学生の頃、ぼくは始めたことを途中でやめてしまうことが何度ありました。でもこれから学ぶことは、大きくなって社会に出て行く上での基礎になります。だから、勉強も部活動も最後までやり遂げることを大事にして努力したいです。

このふたつを心にすえて中学校生活を有意義に過ごしたいと思います。

頑張りたいこと、楽しみなことはたくさんありますが、同じくらい不安も感じています。苦しいことや迷うこともあるかもしれませんが、でも、先生方や先輩方にいろいろ教えていただきながら、仲間と助け合い一歩ずつ頑張っていきたいと思っています。

3年間、どうぞよろしくお願ひします。



それを受けて、生徒会役員諸君による「校歌合唱」がありました。顔を上下させながら、♪二度とないそよ風の季節汲み上げよ自らの泉を そのひとしずくの清冽を どこかで誰かが待っている♪ と歌ってくれる表情から、生徒会みんなの歓迎の思いが伝わってきました。

ようこそ207名の新入生の諸君、学校はひとりじゃできないことをみんなで努力してやり遂げる追究の場所です。一緒に頑張っていきましょうね。



～ ～ ～ ～ ～

休憩を挟んで、今度は全校生徒が集まり、1学期始業式が行われました。新任職員・学級学年担任発表があり、生徒代表の2名の仲間が新学期への抱負を伝えてくれました。

まずは2年4組の平林勝真君「2年生になって」です。

今年度は部活動と勉強の両立をしていきたいです。勉強では2年生の成果が高校へ行くための基準にもなり、進路決定をしていく上で大切なものになってきます。授業態度・課題の提出率など今よりもっと良くしていきたいです。一方で部活動では、今年の冬、走りすぎが原因で膝を故障してしまいました。1ヶ月間はみんなと同じ練習ができませんでした。でも練習の補助をしながら先輩のいい動きやチームの弱点などを見つけることができました。1週間前病院に行くと「様子を見ながら練習をなささい。」と言われ、とてもうれしかったです。治ったことが一番うれしかったのですが、この1ヶ月間はけがをしている人の身にもなれました。僕はこの1ヶ月間に貴重な体験をして成長することができました。(中略)これからは勉強・部活動が想像以上に大変になってきます。しかしテストでは1点でも成績を伸ばせるように、試合では1回でも多く勝てるように頑張り、人の気持ちを思いやり、みんなで明るく楽しい中学校生活を送りたいです。

そして3年4組の濱田夏輝君は「3年生になって」という内容で伝えてくれました。

僕には、3年生になって改善したいことが3つあります。ひとつめは「学校に遅刻しないこと」です。1・2年生の頃、朝部活のない月曜日に遅刻することがあったからです。高校進学へ向けて生活習慣を正すためにも、まずは時間の意識を高め「遅刻しないこと」を当たり前にしたいです。ふたつめは「提出物を出す」ということです。昨年まで、僕は学習の提出物をあまり出せませんでした。出そうと思ったことは何度もあるのですが、面倒くさくなってしまい



続きませんでした。これからはテストも難易度が上がってきます。毎日の家庭学習を充実させ、提出物に気が配れるよう努力したいです。(中略)2年生の後半から、気持ちを入れ替えて努力してきました。ぜひこのことを継続していきたいです。いよいよ3年生としての生活が始まります。最



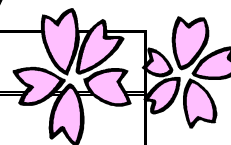
高学年という自覚を持ち、自分で生活を律していけるように頑張りたいと思います。

～ ～ ～ ～ ～

「仲間や先生方とのつながりを大切に築きたい」「人の気持ちを思いやりたい」「気持ちを入れ替え努力してきたことを継続していきたい」・・・といった抱負や決意から、スタートした新しい生活への期待が豊かに感じられる春の一日でした。

《 新任職員です。よろしくお願いいたします。 》

氏 名	教 科	前 任 校
松林 の里子	英語	長野市立長野東部中学校
島田 剛	国語	須坂市立相森中学校
上原 良枝	音楽	長野市立三陽中学校
吉田 正信	社会	長野市立朝陽小学校
宮島 秀樹	保健体育	長野市立柳町中学校
滝澤日砂子	国語	長野市立大岡中学校
藤田 彰	英語	長野市立東北中学校
関川 晃宏	数学	県立坂城高等学校
佐藤智恵子	英語	上田市立上田第六中学校
太子 奈奈	理科	須坂市立墨坂中学校
中島 朋美	技術・家庭	松本市立島内小学校
菊池 浩成	保健体育	長野市立松代中学校
北原 正人	数学	伊那市立春富中学校
半藤 有紀	社会	飯山市立城北中学校
中山 久貴	国語	飯綱町立飯綱中学校



《 連絡～年間行事予定表の「地区懇談会」の期日変更をお願いいたします～ 》

以下のように年間計画表にある「地区懇談会」の期日を変更ください。

○変更 現行 7月4日（金） → 訂正 7月2日（水）

○理由 7月6日（日）の「資源回収」の実施に向けて、「地区懇談会」で出されたご意見に対応するため。

～ ～ ～ ～ ～

桜待つ空の下、658人の生徒諸君ひとりひとりが、溢れかえるような希望と夢を抱えて新たな一歩を刻みました。可能性に満ちた4月を、ひとりひとりの若者諸君が迎えています。

・・・・・・春がゆっくりと巡っていきます。

本年度も学校通信「布施だより」をお届けいたします。お気づきの点等ございましたら、お気軽にお知らせいただければ幸いです。